

2025～2026
RIテーマ

よいことのために手を取り合おう

本年度クラブテーマ

あるべき姿を話し合おう

創立:1991年7月13日

会長/佐々木 徹

幹事/神田 徳行

会報広報委員長/土田 鐘子

■例会日/毎週金曜日12時30分

■例会場/ホテルメトロポリタン秋田

■事務局/秋田市中通7丁目2番1号 ホテルメトロポリタン秋田内

第1515回〈今年度第2回〉例会 2025年7月11日(金)

【会長の時間】

会長 佐々木 徹



本日は、出席委員会の時間なので、出席についての標準クラブ定款の条文を紹介します。

例会の休みについて、例会日が祝日にあたるとき、またはその週……それ以外の理由でも1年に4回まで取りやめることができます。となっています。昔のやり方とはだいぶ変わってきていると思います。

これを機にロータリークラブの法体系を調べてみました。国際ロータリー定款、国際ロータリー細則、標準ロータリークラブ定款、推奨ロータリークラブ細則という構成でした。入会して何年も経つのに初めて知りました。また、これにロータリー章典という過去の議決で現

在も有効なものを集めた文書が存在します。これは 800 ページもあって読むのはあきらめました。でもPDFなので文字検索ができますので、悩んだ時には調べる事ができるでしょう。

今日の会長の時間のメインテーマは、先週の土曜日に由利本荘市でクラブ活性化セミナーが行われ、職業奉仕に関する講演と分科会についての報告です。ある方が職業奉仕と社会奉仕の区別について、「タクシーを例にすると、道端で倒れている人を病院まで運んであげるのは社会奉仕、正規の料金を頂いて安全に早く目的地に連れていくのが職業奉仕」だとおっしゃいました。多くの人は職業を使って社会に奉仕する事だと捉えていましたが、最後に木元先生がロータリーの歴史からひも解いていただいて、皆が腑に落ちたようでした。

ポールハリスがロータリークラブを作った頃、シカゴはギャングが暗躍し、商売もだましてでも金儲けしたものが勝ちだという弱肉強食の世の中だったそうです。そこでロータリーでは適正価格で取引をすることを前提に信頼できる人物を1業種1名に絞って会員にしていきました。

その結果「ロータリークラブの会員企業と取引すると安心だ」という評判が立ち、各社の業績が上がるとともに、ロータリーに加入したい人が増えていったそうです。

これが職業奉仕の始まりです。

ロータリーの目的の第2項にあるように、高い倫理基準で、自らの職業を高潔なものにするというのが、職業奉仕の考え方という事になります。

誇大広告で騙したり、不当に高い料金を請求したりしない、まっとうな商売・サービスという事です。皆がまっとうに職業に努めれば、社会全体が良くなりますので、職業奉仕も社会に貢献するという解釈になるようです。

これを機会に皆さんがロータリーの歴史に興味を持って勉強していただければ、それが職業奉仕にもつながるかなと思います。

【幹事報告】

通 信

* ガバナー事務所

・ 「RLIラーニング・セミナーPART I」開催案内

日時 2025年9月7日(日) 9:20～16:40

会場 秋田テルサ 5F

・ ガバナー公式訪問事前アンケート作成依頼

お知らせ

* 創立記念納涼例会のご案内中です。
ご参加をお願いします。

【出席委員会の時間】

スピーチ：高橋出席委員長
テーマ：「入会して1年を振り返って」



2024～2025年度
100%出席 おめでとうございます

34年(連続)	3名	木元慎一
		松浦新一
		長門孝一
32年(通算)	1名	平澤敦夫
21年(通算)	1名	田宮一
16年(連続)	1名	佐々木力
14年(連続)	1名	阿部大助
14年(通算)	1名	中村瑞樹

11年(通算)	1名	佐々木徹
10年(連続)	1名	白畑保
6年(通算)	1名	猿田正幸
5年(通算)	1名	丸谷卓巳
4年(通算)	1名	辻匡人
3年(通算)	1名	藤村ゆき
1年(通算)	1名	神田徳行
1年	1名	高橋祐輔

【新会員入会式】

氏名：山崎 力
会社名：サントリー（株）秋田支店
役職：秋田支店長
推薦者：白畑 保 会員



ニコニコNEWS

佐々木 徹 会長

山崎さん、ようこそ秋田中央ロータリークラブへ。
これから楽しくクラブに参加していただけますよう歓迎します。(1口)

松村 祐介 会員

2年半と短い間でしたがお世話になりました。ゴルフ温泉と楽しく過ごせました。感謝します。月2、3回は秋田に来てますので、機会があればまた呼んで下さい。引き続き、当社の山崎をよろしく願います。(1口)

白沢 啓 会員

ニコニコボックス委員長になりましたので、毎回(時々)本のことでニコニコする予定です。第一回目は森あつし(敦)氏著の「月山・鳥海山」です。私が学生時代バイトしていた世田谷の書店で目にとまり読んだらしいものです。著者が過した月山山麓のひと冬の生活を描写した芥川賞作品です。先だってジュンク堂で目にとまり読んでいくうちに、50年前に読んだものだった内容に気がつき、ちょっとタイムスリップしたのでニコニコします。(1口)

【出席報告】

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	メイクアップ
7月11日	41名	27名	14名	65.85%	4名
7月4日	41名	30名	11名	73.17%	5名
6月20日	42名	27名	15名	64.29%	0名